

第8回 岡崎市都市計画マスタープラン策定委員会 議事要旨

日 時	2021年1月5日(火) 15:00~16:40		
場 所	岡崎市役所 西庁舎7階 701号室		
議事骨子	1. 開会 2. 議題 都市計画マスタープラン改定(案)について 都市計画マスタープラン改定(案)概要版について 3. その他 今後のスケジュールについて 4. 閉会		
配付資料	・次第 ・資料1 策定委員会、愛知県からの意見とその対応 ・資料2 パブリックコメント(改定原案に対する意見と市の考え方) ・資料3 都市計画マスタープラン(案) ・資料4 都市計画マスタープラン(案)(概要版) ・資料5 今後のスケジュール		
委員 ■出席 □欠席	13名中12名出席		
	所属	職名	氏名
	■名城大学	教授	松本 幸正
	■愛知産業大学大学院	教授	宇野 勇治
	■東海学園大学	名誉教授	宮崎 幸恵
	■岐阜工業高等専門学校	教授	鶴田 佳子
	■愛知県都市整備局都市基盤部都市計画課	課長 (代)主査	齊藤 保則 大見 明弘
	■愛知県西三河建設事務所	企画調整監	杉山 謙
	■岡崎商工会議所	女性部会長	稲垣 栄子
	■岡崎農業委員会	会長	羽根田 正志
	■NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた	事業企画マネージャー	天野 裕
	□NPO 法人21世紀を創る会・みかわ	専務理事	斎藤 眞澄
	■株式会社まちづくり岡崎	取締役事業統括本部長	長谷川 伸介
	■市民代表		片桐 政勝
	■市民代表		伊藤 佳子

1. 開会
事務局

あけましておめでとうございます。寒さ厳しい折、また、松もとれないなかお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。只今から第8回岡崎市都市計画マスタープラン策定委員会を開催させていただきます。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、会議時間の目安を1時間とさせていただきます。ご協力のほどよろしくお願いたします。

それでは、委員会の成立についてご報告させていただきます。本日の会議につきましては、岡崎市都市計画マスタープラン策定委員会設置要綱第5条第2項の規定により、

半数以上のかたのご出席をいただいておりますので、会議が成立していますことをご報告申し上げます。

なお、設置要綱第5条第3項により公開することとしておりますが、傍聴希望者がありませんでしたので、傍聴者なしでお願いいたします。

また、本日の日程につきまして、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。配付しました資料について確認いたします。配席図・委員名簿、お送りいたしました資料と次第、席上に当日の配付資料としまして右肩に1~4としています。もし足りないものがありましたら、お教えください。よろしいでしょうか。

それでは松本委員長、よろしくをお願いいたします。

松本委員長

早速ではございますが、次第に沿って進めさせていただきたいと思っております。

事務局、よろしくをお願いいたします。

2. 議題

・都市計画マスタープラン改定（案）について

※資料説明及び質疑応答

松本委員長

前回の策定委員会とパブリックコメントから出た意見について、その対応をご説明いただいた。この説明についての質問、さらに追加の意見はないか。

宇野委員

パブコメにあったエネルギーに関することは、都市マスでどのように扱うのか。災害時のエネルギーのバックアップなどは記載しないのか。

事務局

p. 3-33「防災活動拠点の整備」として「地域電力を活用し、大規模災害時でも必要な電力を確保」と一部記載しています。バックアップについては、市全体として地域強靱化計画で電力のみならず通信施設の確保を記載しています。

宇野委員

都市マスには記載しないという整理か。

事務局

全体構想で事前復興という大きな観点では捉えられますが、具体の防災の記述について事務局側として想定していません。

松本委員長

新電力・新エネルギーを都市施設として記載するかどうか。

今の自然再生エネルギー（太陽光や風力）はどちらかという都市計画区域外であるため、整備としても書きづらい。工業地域で何かつくるかという計画もない。

もう1点は、災害時のバックアップ電力は、防災計画など他計画の整理であるように記載しておけば安心できる。

鶴田委員

p. 1-35 エネルギーマネジメントシステムについて、何もやっていないように読めてしまうので、もう少しやっていること、関連することをわかりやすく記述したらどうか。

事務局

回答の仕方をマスタープランの記載を加味したうえで、パブリックコメントの回答を再考します。

鶴田委員

市がやろうとしていることで書き忘れていたことがあれば、追加したらよいと思う。

松本委員長

菅内閣になり、2050年カーボンニュートラルを打ち出している。2030年からはガソリン車が完全になくなるので、都市部での電気や水素の供給施設は十分可能性がある。し

たがって、新しいエネルギーの供給施設の導入・検討について、書いておいたほうがいいのかもしれない。

事務局 新技術の文言で読むことができればよいと思います。都市マスで記載するのは時期が早いと考えます。

松本委員長 急に出てきたからと言って、関係部署に照会もせず記載することはできない。少なくともパブコメの回答については、考えていないことはないと記載してもよいのでは。

鶴田委員 p. 2-24 にエネルギー供給施設や防災関係の記載を入れられないか。

松本委員長 p. 2-18 〈基本方針 3〉にある、高次都市機能の中にエネルギー供給施設は入ってきてもよいのではないか。

事務局 確かに。高次都市機能に一案としてどのように入れたらよいか。

松本委員長 p. 2-18 〈基本方針 3〉の 1 項目として新技術や環境・エネルギーの表現を入れられないかと考えます。

松本委員長 「検討する」や「目指す」という表現でもよいのではないか。基本方針の中で具体レベルの話は難しい気がする。課題か目標像にある記述レベルですね。p. 2-11 「スマートシティの導入を検討します」のあたりでの記載もよい。

片桐委員 先のことをこの場だけで決めていくことはできないが、幸い、都市マスは途中で見直しをすることもできる。エネルギー政策が大きく変わった場合には、それぞれの自治体でエネルギー供給も考えていくことになる。そういう意味では安心いただきたい。

事務局 パブコメ No.13 コンベンションホールの回答について。「賑わいと交流を送出する施設の誘導とし、」まではよいが、「観光産業交流機能の誘導によるまちづくり～」だと限定的すぎではないか。もう少しグローバルに、どのように使ったらよいのかという観点で記載すべきではないか。

片桐委員 市長の公約や議会答弁でもありましたとおり、太陽の城跡地でのコンベンションホールの誘致を再検討するため、都市マスにも記述を削除しました。一方、賑わいと交流を創出する施設については、市として拠点となる東岡崎駅周辺のエリアにとっては必要であるという観点で記述しています。跡地というスポットよりも、もう少し広いエリアで考えています。

事務局 それはわかるが、だからこそ観光産業交流機能に限定する必要はなく、いろいろな考え方や広い意味の表現にしてはどうか。

片桐委員 広域で交流するような施設、都市拠点、日常の機能として捉える必要があると考え、引き続き検討をしていきます。民間事業者による施設の建設を観点に入れて「施設の誘導」という表現にしています。

松本委員長 5 年、10 年先を見据えるなら、「観光産業交流機能の誘導」とすると狭まってしまうのではないかと思う。パブコメの回答として、「観光産業交流機能の誘導」を削除し、跡地をどのようにするのか、中央地域をどのようにするのか、2 つの切り分けを明確に記載してはどうか。

事務局 選挙との時系列はどのようにになっているのか。

事務局 選挙後にパブコメを行っています。

松本委員長	コンベンションホールに限定した記述にしてもらおう。
天野委員	パブコメNo.16 リバーフロントと併せて整備してほしい無料施設について。「無料」との要望に対し、回答が合っていない気がする。QRUWA はエリア内の収益を上げ、その収益を他（無料でできるサービス）に還元することを目指していると説明したほうがよいのではないか。
事務局	天野委員のご意見・観点を参考に記載の修正を検討します。
松本委員長	回答の後半にある「子育てや福祉などの施設についても立地誘導を図っていく」というのは、必ずしも都市機能誘導区域につくるわけではなく、必ずしも無料ではないことがわかるよう、切り分けて記載してほしい。
鶴田委員	p. 1-37 コロナウイルスに関する記載について。終息しても方針は消えない表現にしてほしい。文頭に出てくると、コロナ終息後に関係ない文章となってしまうまいだろうか。
松本委員長	自治体によって分かれる。感性の問題。事務局の想いであろう。将来像ではあまり目立たない表現になっているのでよいのではないか。
松本委員長	当日配布資料 3 の目標 1 について。 × 新型コロナ禍を契機として生じた変化に対応した ○ 新型コロナ禍を契機として生じた変化にも <u>対応</u> した とした表現にしたほうがよい。
松本委員長	公共交通の計画について。地域公共交通網計画は法律が改正され、地域公共交通計画と名称が変更になった。「網」の有無を関係課と調整してもらいたい。
事務局	関係課と調整をしたうえで「網」を入れた計画としております。
天野委員	当日配布資料 3 【都市像 3】 目標 1 の 3 行目。 × <u>ライフスタイルの変化にも対応した</u> 子どもから高齢者まで誰もが住みやすい、住み続けられる都市を創造します。 ○ 子どもから高齢者まで誰もが住みやすい、 <u>ライフスタイルの変化にも対応した</u> 住み続けられる都市を創造します。 と語句の位置を修正したほうがよい。
	当日配布資料 3 の目標 1 の 2 行目 「コロナ禍」「新型コロナウイルス感染症」とは聞くが「新型コロナ禍」という言い方はどうしたものか。
松本委員長	1 点目はそのとおりですね。2 点目については、確かに耳にするのは「コロナ禍」。
事務局	国や公の機関でどのような表現をしているのか調べたうえで、全て再チェックします。言い回しなども精査させていただきます。

・都市計画マスタープラン改定（案）（概要版）について

※資料説明及び質疑応答

松本委員長	概要版はホームページのみの公表か。
事務局	無料配布の冊子を都市計画課の窓口や支所に置くことを考えています。ホームページでも PDF でアップします。 当日配布資料 4（ポスター展示されたもの）は、表面に全体像、裏面にお住まいの地域

	の内容が印刷された1枚のリーフレット状にして、その地域の支所に置くことを想定しています。
松本委員長	それはいいですね。名称をつけておいてください。
鶴田委員	「都市づくりの基本理念」は上の方に配置し、「都市計画マスタープランとは」は下の方の配置でよいのではないかと。
松本委員長	デザインの問題である。基本理念はもう少し上の方がよいと思う。
天野委員	当日配布資料4の中央地域の図面内の岡崎城に矢印の先端があるが、赤点線囲み(拠点等の区域)を指すべきではないか。重要なエリアなので、ミスリードしないようにしていただきたい。
宇野委員	都市構造図も市民に興味を持ってもらえるように、もう少し説明を加えると良いのではないかと。
松本委員長	1ページ目に大きなプロジェクトがあるといいなと思うが、どこまで入れるか、入れすぎて訳がわからなくなるのもいけない。バランスをとって全市民にとって興味が沸くものがよい。プロジェクトの細かいことは地域ごとで記載があるとよい。都市マスタープランの説明は曖昧でもう少し明確に記述したほうがよいと考える。国の記載からの引用か。
事務局	都市マスタープランの説明などについてももう少し精査します。
片桐委員	当日配布資料4各地域のデザインは、下に配置された構想図がカラーで上はグレーであるため、チグハグな感じがする。
事務局	お手元の資料はポスター展示をしたものを縮小しているだけです。下部に配置したまちづくり構想図では、いろいろな土地利用を記載しなければならず、多色となります。上の方でも色を使うと賑やかすぎると思いこのデザインで掲示をしました。A4リーフレットについては、色やフォントは見やすいものに工夫します。
伊藤委員	いいものができそうな感じがする。せつかくなので市政だよりへの掲載や回覧板などに入れるなど検討してもらいたい。
事務局	関係課と相談しながら、上手な周知を検討していきます。
長谷川委員	10年のことを考えることはなかなかないため、そのきっかけとなってほしい。できることなら総代会で渡して、地域で考えるきっかけにしてもらいたい。
事務局	年4回総代会長が集まる会議にも利用しながら周知していきます。
松本委員長	さらにわかりやすくするための意見を出していただいた。ありがとうございました。

3. その他

・今後のスケジュールについて

※資料説明及び質疑応答

→質疑応答なし

4. 閉会

松本委員長

皆さまのご協力によって、いいマスタープランができるのではないかと思います。しかしこれで終わりではなく始まり。地域と一緒にまちづくりを進めていくためにはどのようにしたらよいかを考えてもらいたい。

事務局

本日は貴重なご意見を賜りまして誠にありがとうございます。先ほどスケジュールの説明にありましたとおり、本日が最終回となります。閉会にあたり、都市整備部長の杉山よりご挨拶申し上げます。

都市整備部長

平成31年4月第1回策定委員会開催から2年間にわたり都市マスの策定にご尽力いただきまして、誠にありがとうございました。皆さまから多くのご意見をいただき、おかげをもちまして今後10年間の都市計画の基本的な方針であります、都市マスタープランが概ねできてまいりました。この都市計画マスタープランをもちまして都市計画行政を行って参りたいと思います。委員の皆さまにおかれましては、この会議が一区切りとなります。今後とも本市の発展、都市計画行政にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。2年間ありがとうございました。

以上